



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 サン電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6736 URL http://www.sun-denshi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 正則
 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 山本 泰 (TEL) (052) 756-5981
 問合せ先責任者 経理兼経営企画担当
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,422	18.5	△1,036	—	△1,036	—	△963	—
29年3月期第3四半期	16,396	△2.7	△43	—	△163	—	△248	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △1,198百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △1,555百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△42 77	—
29年3月期第3四半期	△11 07	—

(注) 平成29年3月期第3四半期及び平成30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,363	12,370	44.4
29年3月期	27,316	14,802	49.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,263百万円 29年3月期 13,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0 00	—	20 00	20 00
30年3月期	—	0 00	—		
30年3月期(予想)				20 00	20 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	2.8	△1,500	—	△1,700	—	△1,200	—	△53 29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期3Q	22,537,800株	29年3月期	22,520,400株
30年3月期3Q	946株	29年3月期	946株
30年3月期3Q	22,527,178株	29年3月期3Q	22,468,271株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

モバイルデータソリューション事業のうち、犯罪捜査機関等向け(デジタル・インテリジェンス事業※)が属するデジタルフォレンジック市場につきましては、各国行政機関の安全保障に対する意識の高まり、デジタル化の進展及び犯罪捜査手法の進化等に伴い、需要の形を変えながら、引き続き成長が見込める市場環境にあります。

また、携帯端末販売店向け(モバイルライフサイクル事業)が属するモバイルデバイスライフサイクル市場につきましては、携帯端末販売店の役割は多様化・複雑化しており、顧客との広範なコミュニケーションが求められています。さらに、MVNO等の登場により通信事業者間の競争環境も変化しており、携帯端末販売店の顧客満足度を高める動きが継続している市場環境にあります。

このような変化の激しい市場環境に対応するため、製品・サービス等の販促・研究開発を強力に推進しておりますが、その一方で長期の成長実現に向けた分析の分野等に対する開発投資が増加しており、収益を圧迫する傾向にあります。

次に、エンターテインメント関連事業が属する遊技機市場につきましては、平成29年9月4日に公布された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」(施行期日 平成30年2月1日)への対応等の影響から、パチンコホールの遊技機の入替減少、新規出店や店舗改装等の設備投資を先送りする傾向等が継続し、将来的な不透明感が増大している市場環境にあります。

上記のように、当社の主力事業の市場環境が厳しい状況にある中、当社グループの更なる成長を図るため、IoT、AR等の最新技術やビッグデータ等を活用していく社会的な流れを汲み、その他事業として、次のような取組みを進めております。

【AR】

- ・平成29年7月に、藤田保健衛生大学とARスマートグラス「AceReal」を用いた実際の教育現場での環境を模した実証テストを行いながら、医学教育現場に貢献できるソリューションの開発を進めております。
- ・「Health2.0 Asia - Japan 2017」、「ウェアラブルEXPO」などに出席し、多くのお客様にARスマートグラス「AceReal One」をご体験いただいております。多様なお客様の声から新たなニーズを発掘し、新たなソリューション開発に努めております。

【VR】

PlayStationVR向けに開発しているゲームコンテンツ「DARK ECLIPSE(ダークエクリプス)」が、“PlayStationVR”ラインナップ紹介トレーラーに採用され、東京ゲームショウのSONYブースにて映像出展されるなど、発売に向けた開発及び販促活動をしております。

【IoT】

ペルーにおけるサトウキビ畑の水がめやポンプ等の灌漑設備等をIoT化し、実証実験を行っております。

【O2O】

スマートフォン向けのO2Oアプリを開発しており、「どんどん庵」アプリを平成30年1月9日にリリースしました。また、予約決済等の新機能を追加した「iToGo」アプリを開発し、飲食チェーン店を中心に販促活動をしております。

これらの結果、平成30年3月期第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高につきましては、主力事業のモバイルデータソリューション事業とエンターテインメント関連事業の売上高が前年同期を上回り194億22百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

各利益については、モバイルデータソリューション事業における販売人件費及び研究開発費の増加並びにAR、VR、飲食店向けクラウドサービス等の新規事業に関連する研究開発費の増加等により、営業損失10億36百万円(前年同期は43百万円の損失)、経常損失10億36百万円(前年同期は1億63百万円の損失)となりました。また、特別利益として保有していたIPアドレスの売却による権利譲渡収入1億4百万円を計上した一方で、特別損失として投資有価証券評価損1億59百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は9億63百万円(前年同期は2億48百万円の損失)となりました。

※デジタル・インテリジェンス事業は従来の裁判等の証拠に用いられるデータ抽出を基礎としたフォレンジック分野に加え、モバイルのデータ解析という分析の分野も含まれます。事業のフォーカスする範囲を拡大したため、名称を変更しました。

当社グループでは、事業内容を2つのセグメント及びその他に区分しております。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①モバイルデータソリューション事業

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	8,753	10,713	1,959	22.4
セグメント利益又は損失(△)	342	△373	△715	—

売上高は、現地通貨ベースでは、モバイルライフサイクル事業が前年同期を下回ったものの、デジタル・インテリジェンス事業が前年同期を上回ったため、増収となりました。また、円ベースでは、換算レートが前年同期に比べて円安となったため、全体として増収となりました。

セグメント利益は、増収となったものの、販売人件費や研究開発費の増加により、セグメント損失となりました。

②エンターテインメント関連事業

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	6,248	7,381	1,132	18.1
セグメント利益	503	730	226	45.0

遊技機メーカー向けの遊技機部品の販売が好調に推移したことにより、前年同期を上回り、増収増益となりました。

③その他事業

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,394	1,327	△66	△4.8
セグメント損失(△)	△380	△788	△407	—

売上高は、M2M通信機器の販売の減少により、前年同期を下回りました。

セグメント利益は、売上高の減少に加え、ARスマートグラス「AceReal One」、PlaystationVR向けゲームコンテンツ「DARK ECLIPSE (ダークエクリプス)」の開発活動が本格化し、開発投資が増加したことにより、損失額が拡大しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,916,525	10,733,226
受取手形及び売掛金	4,911,049	4,949,558
電子記録債権	12,602	39,368
リース投資資産	33,020	20,349
製品	1,018,307	1,077,873
仕掛品	457,783	234,813
原材料	1,038,265	1,278,173
繰延税金資産	157,878	150,269
その他	1,015,384	1,102,640
貸倒引当金	△180,146	△207,991
流動資産合計	21,380,670	19,378,282
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,295,554	1,295,554
その他(純額)	1,772,489	2,077,501
有形固定資産合計	3,068,043	3,373,055
無形固定資産		
のれん	582,295	446,863
その他	36,039	35,752
無形固定資産合計	618,335	482,616
投資その他の資産		
投資有価証券	1,202,403	1,214,639
繰延税金資産	513,566	655,910
その他	1,063,245	777,079
貸倒引当金	△530,043	△517,689
投資その他の資産合計	2,249,171	2,129,940
固定資産合計	5,935,550	5,985,612
資産合計	27,316,221	25,363,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,547,896	2,588,992
短期借入金	1,950,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	44,998	44,620
リース債務	48,266	38,157
未払費用	1,705,985	1,740,577
未払法人税等	248,334	236,899
前受金	26,250	14,244
前受収益	4,291,206	4,689,298
賞与引当金	1,057,355	1,005,363
製品保証引当金	21,084	20,404
その他	76,269	224,311
流動負債合計	12,017,646	12,552,868
固定負債		
長期借入金	100,139	66,140
リース債務	37,098	11,009
長期未払金	10,110	10,110
繰延税金負債	252,586	254,295
再評価に係る繰延税金負債	9,920	9,920
役員退職慰労引当金	29,726	29,315
退職給付に係る負債	53,395	56,850
資産除去債務	3,220	3,220
固定負債合計	496,197	440,862
負債合計	12,513,844	12,993,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	999,888	1,002,106
資本剰余金	474,594	—
利益剰余金	11,487,827	9,784,259
自己株式	△314	△314
株主資本合計	12,961,996	10,786,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,235	47,814
繰延ヘッジ損益	△2,992	27,142
土地再評価差額金	△434,203	△434,203
為替換算調整勘定	1,087,342	836,979
その他の包括利益累計額合計	651,382	477,733
新株予約権	770,004	909,537
非支配株主持分	418,993	196,841
純資産合計	14,802,376	12,370,163
負債純資産合計	27,316,221	25,363,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,396,706	19,422,276
売上原価	7,237,262	8,280,730
売上総利益	9,159,444	11,141,546
販売費及び一般管理費	9,203,300	12,178,195
営業損失(△)	△43,856	△1,036,649
営業外収益		
受取利息	65,420	89,569
受取配当金	19,828	21,658
為替差益	11,915	61,494
その他	5,134	7,056
営業外収益合計	102,298	179,779
営業外費用		
支払利息	7,083	5,530
持分法による投資損失	214,925	174,419
営業外費用合計	222,008	179,950
経常損失(△)	△163,566	△1,036,820
特別利益		
固定資産売却益	—	563
投資有価証券売却益	25,280	—
新株予約権戻入益	—	6,753
権利譲渡収入	—	104,757
特別利益合計	25,280	112,074
特別損失		
固定資産除却損	593	1,979
投資有価証券評価損	—	159,919
投資有価証券売却損	4,044	—
特別損失合計	4,637	161,899
税金等調整前四半期純損失(△)	△142,924	△1,086,645
法人税、住民税及び事業税	120,084	94,151
法人税等調整額	△17,020	△167,021
法人税等合計	103,064	△72,870
四半期純損失(△)	△245,988	△1,013,775
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,827	△50,382
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△248,815	△963,392

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△245,988	△1,013,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,178	46,578
繰延ヘッジ損益	38,728	33,131
為替換算調整勘定	△1,361,355	△341,686
持分法適用会社に対する持分相当額	△37,736	77,141
その他の包括利益合計	△1,309,185	△184,835
四半期包括利益	△1,555,174	△1,198,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,489,169	△1,137,041
非支配株主に係る四半期包括利益	△66,005	△61,569

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。